

四、ヴァンガードの最高指導機関は本部中央執行委員会であるが、實質的には地方聯合會執行委員会にして、該委員会の下に、該地方聯合會地域ヴァンガードの總指揮者一名を置く。指令は總指揮の責任とする。

五、總指揮は、自らを委員長とする參謀委員會を組織する。參謀部は地方聯合會執行委員會のみに責任を負ふ。

六、ヴァンガードは平服隊であつて敵にその存在を明示する如き外觀を披けてはならぬ。

三、ヴァンガードの活動規範

一、ヴァンガードは、組合戦線の前衛部隊として、資本の攻勢に對抗する労働軍の先陣を勤めるものであるが、それにつけて特に注意すべき點は、前衛とそれに續く部隊との歩調の關係である。前衛隊はそれに續く部隊が狂つて始めて前衛隊であり得る。他の部隊から孤立する程に進みすぎた部隊は、前衛隊ではなくして迷子隊である。敵に易々と糧はれ去るのは常に、かゝる「前衛」である。眞の前衛隊の活動は、組合全般の平均的活動程度より常に一歩進んだものでなくてはならないが、三歩進んだものであつては既に失敗を喫む。

組合の前衛分子（その大部分は必然的に青年である）は運動上最も貴重なる要素

であるは勿論精ぶまでもない。前衛分子を奪ひ去られた運動は燈光を失つた燈である。前衛のかゝる重要意義を輕視して、自らを無益に危険を曝らすヴァンガードは、決して運動に忠実なるものではない。敵に對する用意周到並に責任を感ずるが故にこの自重的態度をば、閉鎖回避の憶念と混淆してはならない。團體的統制と訓練とを重んじて抜け駆けの功名の代りに、大衆的勝利を期待する忍耐こそは、ヴァンガードの精神的條件の最大なる一つである。かゝる意味に於て、輕率盲動を避け、感情的満足を犠牲にしても運動全体の實質的勝利の爲のみに行動する事を以てヴァンガードの規範としなければならぬ。

二、ヴァンガードは其、本質上缺の如き訓練と統制とを必要とする。階級的意識を以て貫かれたる軍隊的統制の確立は、その行動の前提條件である。

三、ヴァンガードが決死的闘争に堪へる勇氣と犠牲的精神とを武器とするものであるは濟ふまでもない。組合の犠牲者救済委員會の活動は、ヴァンガードの犠牲に對して出来得る限りの償ひをなすものであるがその如何に拘らず、ヴァンガードは労働階級最後の勝利の上に自からの犠牲に對する安全なる報酬を期して前衛としての榮譽ある任務の遂行に當るべきである。

四、ヴァンガードの活動場面としては、争議、組合大會、演說會等々における警備、デモの組織及び指導、非常時における連絡、傳令、派派等々である。ヴァン